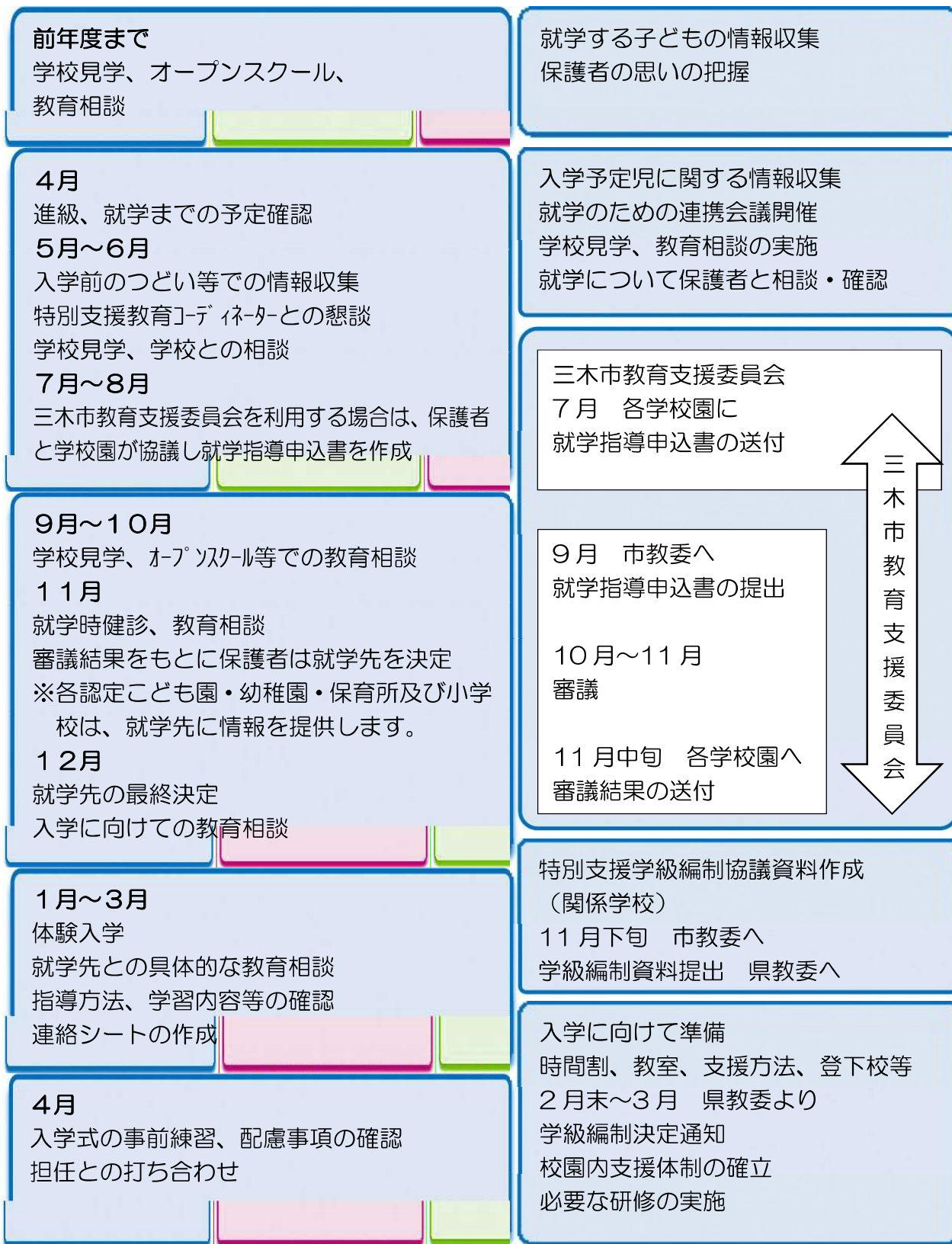


## 17 就学までの流れ

### 保護者

### 学校園





## 支援につながる情報収集を！

4月から次年度の就学の準備は始まっています。子どもが在籍する認定こども園、幼稚園、保育所や小学校等から積極的に情報を収集しましょう。最近では、早期から療育機関や医療機関を利用するケースが増えてきています。また、健康増進課や子育て支援課、教育センター等も子どもに関する情報を持っている場合があります。積極的に問い合わせて、情報収集を行いましょう。

## 情報収集は複数の目で！

一人での情報収集は、偏りや個人の判断が入ってしまう危険性があります。同じ情報を複数の人で共有するようにすれば、それを未然に防ぐことができます。

## 就学については、保護者と複数回の見学・相談を！

就学にあたって迷わない保護者はいません。一度結論を出しても、数日後には揺らいでいることはよくあります。本人や保護者が前向きに就学や進級について考えられるように、保護者と丁寧に見学や相談を行いましょう。なお、特別支援学級には、以下のような種別があります。子どもの状態や診断を参考にして、適切な学級種別を選ぶようにしましょう。

特別支援学級種別：知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、  
自閉症・情緒障害

## 連絡シートの活用を！

支援が必要な子どもの就学や進学にあたっては、必要な情報が必要なだけ進学先に伝えられることが大切です。伝えられた情報を共有するためには、文章で表した方がより確実に伝わります。連絡シート（58ページから）等を活用し、正確な引き継ぎを行いましょう。

## 三木市療育連絡会では「入学前のつどい」を行っています！

小学校入学前の子どもがいる保護者同士が、意見交流や就学に向けての情報収集をする場として、「入学前のつどい」を行っています。また、学校と保護者が情報交換を行うための機会でもあります。毎年5月から6月に開催されています。

## 適正な支援体制を！

通常の学級に在籍する子どもの中で、支援が必要なケースが増えてきています。限られた人的配置ですが、できる限り適正な支援が行えるように各学校園での工夫が求められています。学校園だけでは難しい場合、教育相談や通級指導などを活用しましょう。

